[低圧(1MPa以下)]

グリセリン入圧力計取扱説明書

圧力計を正しく、しかも安全に使用して頂くにあたって要点をまとめました。
この取扱説明書をよくお読み下さい。誤った取扱いをされますとゲージの故障の原因となり、また傷害や災害事故のもとになり大変危険です。

警　　告

1．最大圧以上での使用は瞬間であっても使用しないで下さい。
常用圧力範囲の上限は、変動圧力では最大圧力の２／３以下で御使用下さい。
圧力エレメントが金属疲労によって破損または破壊し、けがや周囲を破壊するもとになります。

2．腐食性のある流体での使用はしないで下さい。
圧力エレメントが腐蝕によって破損または破裂し、その流体が漏れて飛散したりしますと、けがや周囲を破壊するもとになります。
もし流体が目に入ったときには、出来るだけ早く目を洗浄して下さい。

3．酸素、塩素、硝酸、過酸化水素の測定には使用しないで下さい。
万一、圧力エレメントが破損または破裂した場合、充填液と反応して発火や爆発の危険をともないます。

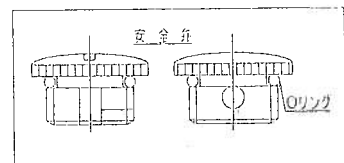
4．過大な衝撃や振動を与えないで下さい。
内部機構が破損したり、圧力エレメントが破裂しますと、測定液体が漏れたり飛散したりするもとになります。

5．使用温度範囲（－５℃～＋４５℃）以外での使用はしないで下さい。
圧力計が故障または破損し、けがや周囲を破壊するもとになります。

6．圧力計の安全弁の周囲は１０㎜以上の空間をとって設置して下さい。
安全弁が正常に作動しないと全面アクリルガラスが破損することがあって、けがのもとになり大変危険です。

7．製品自体に改造や新たな機構を付加等は行わないで下さい。万一事故になっても責任は負いかねます。

グリセリン入り圧力計の安全弁について

弊社が製作しております、グリセリン入り圧力計の安全弁には、下図の安全弁を取り付けて出荷しております。
気温の変動によって、ゲージの内圧が上下しますと、最大圧の低い連成形及び　圧力計（１MPa以下）の圧力指示に影響を及ぼし、実圧より低く指示します。
これが支障になるときは、栓を緩めて大気圧に戻してから使用されますと正しい測定ができます。

安全弁
Oリング

注意　本器は封入液の内圧変動に依る計器示度に及ぼす影響を避けるために取付の際、上部のビスを少し緩めてもとに戻して下さい。

株式会社　大東計器製作所

[高圧(1.5MPa以上)]

グリセリン入圧力計取扱説明書

圧力計を正しく、しかも安全に使用して頂くにあたって要点をまとめました。
この取扱説明書をよくお読み下さい。誤った取扱いをされますとゲージの故障の原因となり、また傷害や災害事故のもとになり大変危険です。

警　　告

1．最大圧以上での使用は瞬間であっても使用しないで下さい。
常用圧力範囲の上限は、変動圧力では最大圧力の２／３以下で御使用下さい。
圧力エレメントが金属疲労によって破損または破壊し、けがや周囲を破壊するもとになります。

2．腐食性のある流体での使用はしないで下さい。
圧力エレメントが腐蝕によって破損または破裂し、その流体が漏れて飛散したりしますと、けがや周囲を破壊するもとになります。
もし流体が目に入ったときには、出来るだけ早く目を洗浄して下さい。

3．酸素、塩素、硝酸、過酸化水素の測定には使用しないで下さい。
万一、圧力エレメントが破損または破裂した場合、充填液と反応して発火や爆発の危険をともないます。

4．過大な衝撃や振動を与えないで下さい。
内部機構が破損したり、圧力エレメントが破裂しますと、測定液体が漏れたり飛散したりするもとになります。

5．使用温度範囲（－５℃～＋４５℃）以外での使用はしないで下さい。
圧力計が故障または破損し、けがや周囲を破壊するもとになります。

6．圧力計の安全弁の周囲は１０ mm 以上の空間をとって設置して下さい。
安全弁が正常に作動しないと全面アクリルガラスが破損することがあって、けがのもとになり大変危険です。

7．製品自体に改造や新たな機構を付加等は行わないで下さい。万一事故になっても責任は負いかねます。

グリセリン入り圧力計の安全弁について

弊社が製作しておりますグリセリン入り圧力計の安全弁には、下記右図の中心に赤色の①ゴム栓（NBR）を取り付けて出荷しております。
ここが気温の変動によって、ゲージの内圧が上下しますと、最大圧の低い連成形及び圧力計（１ MPa以下）の圧力指示に影響を及ぼし、実圧より低く指示します。
これが支障になるときは、夏期・冬季等必要に応じて一度栓を緩めて大気圧に戻してから使用されますと正しい測定ができます。

尚、赤色のゴム栓は、ゲージのエレメントに異常が起きて、漏れたり破壊したときに飛び出しますから、その周囲は１０ mm 以上の空間を設けて下さい。

株式会社　大東計器製作所